

名経大の夏留学2025 世界へジャンプ！

「未来が広がる、私が変わる ― この夏、留学で一歩前へ」
新しい文化、新しい仲間、そして新しい自分との出会い。2025年夏、名経大生の挑戦と成長の記録がここにあります。これからも、もっと輝く未来へ向かって頑張ります！

Q: 現地の人との印象的な交流はありましたか？

漢陽大学の学生と一緒に田舎体験を行い、自然や文化に触れました。交流を深める中で、韓国での生活や人々の温かさに魅力を感じました。



経営学部 2年生
板野 未幸
飛鳥未来高等学校出身

Q: 授業やアクティビティで特に記憶に残ったことは？

学んだ言葉を実際に使って会話する授業や、K-POPなどの動画を使った授業が特に印象に残っています。楽しく学びながら自然に韓国語力を伸ばすことが出来ました。

Q: これから留学する人にアドバイスするとしたら？

失敗や恥を恐れず、積極的に挑戦することで後悔なく帰れる！新しい環境での経験が一生忘れない思い出になるし、成長につながる！

Q: 授業やアクティビティで特に記憶に残ったことは？

クラスメイトと協力して課題やプレゼンテーションに取り組む授業が多くあって、日本との違いを感じました。とにかくコミュニケーションをとる場面が多く、自然と英語を話すので無理なく英語力が向上したと感じています。



経済学部 4年生
高田 航河
福岡第一高等学校出身

Q: 留学中に挑戦してよかったと思うことは何ですか？

一人で出かけた時、現地の人に話しかけたり、分からないことを聞いたりしたことです。生活の中で日本と違うことや、英語だらけで分からないことがたくさんあり、まずは周りの人に聞いたりしました。

Q: この経験を、これからどのように活かしたいですか？

留学で得た行動力と多文化の中で学んだ柔軟な考え方や、コミュニケーション力を今後の勉強や人との関わりに活かしたいです。

Q: 留学のきっかけや留学先の選び方は？

オープンキャンパスで留学制度を知り興味を持ちました。英語力を向上させ、日本以外の国を見ていろいろな経験をしたいと思い、マレーシアへの留学を決めました。



経営学部 2年生
山田 聖翔
美濃加茂高等学校出身

Q: 授業やアクティビティで特に記憶に残ったことは？

現地の街を巡るフィールドワークです。実際に人々の生活に触れることで、教科書では学べないリアルなマレーシアの文化や社会の姿を知ることができました。

Q: 食事や生活習慣で驚いたことや楽しかったことは？

屋台文化がとてとても盛んで、夜遅くまで多くの人が食事を楽しんでいたことです。多民族国家ならではの料理が一度に味わえ、特に手で食べる米料理やスパイスの効いた料理は刺激的でした。

Q: 留学のきっかけや留学先の選び方は？

視野を広げたいと思ったからです。自分の常識や価値観に限界を感じ、今いる環境を大きく変えて世界を体験したいと思い、英語も学べるフィリピンを留学先として選びました。



管理栄養学科 2年生
森部 瑠菜
名古屋経済大学
高蔵高等学校出身

Q: 食事や生活習慣で驚いたことや楽しかったことは？

食事をとても大切にしている点が印象的でした。大皿の料理を分け合う習慣や、食を通して人とのつながりを大切にする文化に温かさを感じました。先生との食事の良い思い出です。

Q: 留学中に挑戦してよかったと思うことは何ですか？

看護学生の授業見学に挑戦したことです。最初は緊張しましたが、多くの方が声をかけクラスの輪に入れてくれて、フィリピンの人々の明るい雰囲気を実感。思い切って留学して本当によかったです。

国際交流 イベント週間 インターナショナルウィークス

名古屋経済大学では、毎年夏と冬に「インターナショナルウィークス」という国際交流イベントを開催しています！教職員・日本人学生・外国人留学生・学外団体などが一緒になって、世界の文化に触れながら楽しく交流できる企画がいっぱい！国際交流を通じてグローバルな視野を広げていきましょう！



日本語の発音を一緒に練習しよう



国際教養セミナー(株)明治



楽しく俳句を学ぼう

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、117年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、右記までご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額控除対象法人の認定を受けましたこれにより、個人の方のご寄附については、確定申告時に税額控除と所得控除の2つの制度から、より所得税の減税効果が大きい制度を選択することが可能となります。

寄付金に関する
照会・連絡先

学校法人市邨学園
法人本部 (寄附金相当)

TEL 052-853-0047 (代表)

国際交流センター

----Together, we grow.
学生の成長をサポートします。

海外研修・留学プログラムの運営・支援や、学生同士がつながるイベントを企画しています。国際交流って言葉の壁とか難しそう...と思っている人も、気軽に参加できる企画がたくさんあります。世界とつながる第一歩を、私たちと始めてみませんか？



犬山キャンパス
グローバルスクエア2階
☎ 0568-67-9325
✉ cia@nue.ac.jp
平日 8:45～17:30

Meikei

あなたのご意見をお聞かせください

「名経大通信」Vol.64について、ご意見や感想などございましたら、広報センター(右記連絡先)までお聞かせください

Meikei 名経大通信

vol. 64

令和7年
11月発行

名古屋経済大学 〒484-8504 愛知県大山市内久保61-1
TEL 0568-67-0511(代) <https://www.nagoya-ku.ac.jp/>

広報センター TEL 0568-67-0624 FAX 0568-69-2700
本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断複写・複製・転写を禁じます。



名古屋経済大学

経済学部

- Q1.**ゼミのテーマは「地域課題を理解して、その解決策を考えよう!」です。都市や地域の社会経済課題について、現場に出向き具体的な事象に目を向け、原因の分析と課題解決の方策を研究します。フィールドワークを重視し、地域特性の可視化に関する理論と実践も学びます。
- Q2.**人々が暮らしやすい地域について考えながら、社会的思考を身につけてもらいたいと思っています。ゼミ生には、①社会の仕組みに関心をもち、②多種多様な価値観を享受し、③主体性を持って思考し行動する!の3つについて期待しています。
- Q3.**1つ目は「楽しく活動する」。ゼミは授業であり学びの場ですが、グループ活動の場でもあります。親睦会やゼミ旅行など、ゼミ生同士が楽しみながら協働できる機会を大切にしています。2つ目は「オリジナル・データを創る」。ゼミの最終目標は卒業論文の作成です。卒業論文を書き上げることは人生に役立たないと感じがちですが、その作業は社会人としてのスキル向上に直結すると考えています。世の中にあふれかえる情報をただ集めるのでなく、オリジナルの分析データを創り、自分の立てた問いに答えることを大切にしています。



経営学部

- Q1.**テーマは「“楽しむ”ことを“キャリアデザイン”に繋げよう!!」です。「学ぶ、考える、調べる、書く、伝える、魅せる、そのすべてを楽しむ」を軸に、経営学に関する理論やさまざまなケースから、ゼミ生の将来につながる点を見つけていきたいと考えています。
- Q2.**就職活動を見据え、企業が求める力を楽しく身につけてほしい。グループワークやプレゼンテーションを積極的に取り入れ、5つの力を育みます。①コミュニケーション能力／意見を交わしながら議論・発表を行い、わかりやすく伝え、共感を得る会話力。②チームワーク／グループ活動で互いの強みを生かして成果を生む協調力。③伝える力／考えの整理、視覚的工夫や話し方など、聴き手を惹きつけるプレゼン技術。④傾聴力・質問力／多様な視点で柔軟に受け入れる姿勢、注意深く話を聞き、的確に質問する力。⑤成長意欲／互いにフィードバックすることで、自信を深め、次の成長へとつなげます。
- Q3.**仲間と切磋琢磨しながら社会で求められる総合的な力を培い、キャリアにつながる時間を過ごし、自分らしく成長できるよう、次の3つを大切にしています。①レクリエーションもある楽しいゼミ。②学生主体で全員が参加するゼミ。③将来実社会で役立つ実践的な学びができるゼミ。



法学部

- Q1.**本ゼミでは、ゼミ運営に参加する形式を通じてコーポレートガバナンスを模擬体験し、会社法に関する基礎的な知識の習得を目指します。具体的には、委員会設置会社をモデルとしてゼミ内に複数の委員会を設け、ゼミの内容や各種イベントに至るまで、学生自らが主体となって企画・運営を行います。その過程で、会社運営に関わる取締役の善管注意義務や忠実義務といった知識を学ぶことをテーマとしています。
- Q2.**学生には、主体的に企画・実施を行う力や、チームワークを発揮して協働する力を身につけてほしいと考えています。特に、将来の就職活動や社会人としての活動において重要となる、取締役の善管注意義務および忠実義務の理解を通じて、経営判断に責任を持ち、自ら判断する力を養ってほしいです。
- Q3.**学生一人ひとりの自主性を尊重することです。受動的に教員の指示に従うのではなく、自らゼミの運営に参画し、ゼミ全体のために能動的に行動する姿勢を重視しています。その過程で、企業運営に関わる知識を学びながら、企画・実施の力やチームワークの能力を育成することを大切にしています。



人間生活科学部 教育保育学科

- Q1.**私の専門分野である「子どもの造形活動・図画工作・美術教育」が全般です。子どもたちが興味関心を持って主体的にもつくりや表現活動に取り組むには、教材や題材をどう工夫すればよいかを実際の製作を通して探究しています。そのような活動に取り組む意義や効果についても考えています。
- Q2.**自ら学び続ける力、自主自立の精神ですね。そもそも子どもの表現活動は、「やりなさい」と言われての行為ではありません。美術や表現の学びは、「なぜつくるのか、なぜ描くのか」という自らへの問いかけが根本にあることを学生一人ひとりに考えてほしいのです。そうでないと、教育者・保育者となった将来、美術や造形活動に取り組む子どもの気持ちを置き去りにして、強制的にそういった行為を強いる危険性があるからです。
- Q3.**大学とは、日頃の生活も学修(学び)も、良くも悪くも「自由」なところです。ゼミ教員である私から「これをしなさい、あれをしなさい」と言わないように心がけています。自分が学びたいこと、探究したいことを見つけ、実践することを悔いのないように好きにだけやってほしいと願っています。かけがえのない時間を充実させるか無駄に過ごすかは、自分次第ということは何気ない日常から学生に問いかけているつもりです。



人間生活科学部 管理栄養学科

- Q1.**サプリメントなどに代表される、食品の持つ「健康の維持・増進に有用な成分(機能性成分)」の効率的な摂取方法について、化学的特徴や作用を理解し、加工・製造への活用を検討しています。ちょうど今、本学と連携協定を締結している愛知北農業協同組合(JA愛知北)様と、食品成分を利用したパスタソースの開発を進めています。
- Q2.**問題の本質を見極め、多角的に検討して実行する力です。たとえば、少子高齢化に伴う医療費高騰の対策には、「病気になったら治す」という発想から「日々の食事で病気を予防する」意識への転換が重要です。こうした課題は栄養学の視点だけでは不十分ことも多く、「経済大学の栄養学科」であることが強みになります。地域経済の問題や働く人々の食生活までを総合的に学べるからです。この恵まれた環境を活かし、幅広い分野で活躍できるよう成長してほしいと願っています。
- Q3.**「円滑なコミュニケーションの構築」を第一に考えています。学生に必要なサポートを必要な時に提供する体制づくりはもちろん、学生同士が互いに協調し合える環境・雰囲気づくりにも力を入れています。ただ実際は、学生のほうがコミュニケーション能力に長けている場合も多く、私のほうが勉強させてもらっている感じですね(笑)。



「副専攻」の紹介

本学では学部の垣根を超えて最先端の社会課題とその解決をめざす実践的な教育プログラムとして、地域の社会課題を理論と実務の観点から学ぶ「副専攻」3コースを2024年度から設置しました。

「地域創生・観光・文化遺産」コースでは、犬山市と周辺地域をフィールドに地域創生・観光・文化遺産学を体系的に学び、地域の持続可能な発展について考えます。

「環境共生・里山SDGs」コースでは、人・自然・地域生態系のつながり、世界の物質・

エネルギー循環、地球環境の変遷を経済と関連づけて学びます。

「グローバルコミュニケーション」コースでは、国際社会・経済・協力の基礎知識習得とそのプロセスを通じて、SDGs時代に起こる地球規模課題を多面的・多角的に分析・理解するグローバルな視座を高めます。

各コースでは、3年次にエクスターンシップ※を経験し、4年次に修了報告を行うことにより、学修証明書を授与され、卒業後には地域の第一線で活躍することが期待されます。



※行政・企業・NPOなどでの実習・見学をする制度

2025.10.11-12
第23回

しょうきこうよう
「笑気向陽」

この日のために準備してきた学生たちの創造性とパワーが全開！会場の隅々まで歓声が響きわたり、お祭りムードは最高潮に達しました。ステージには、さらなる進化を遂げたパフォーマーたちが続々登場し、客席とステージが一体となる圧巻の光景が展開。もちろん、例年大好評のオイシイ！たのしい！模擬店巡りも大満足。そしてフィナーレでは、大迫力のミュージックスターメインが、感動的な余韻とともに名経祭を締めくくりました。



☆
SHOP
各ゼミやサークルによる定番屋台から、留学生による本場の味まで目白押し！



1 教職サークル@先生 2 社会交流ボランティアサークル 3 沖縄県人会 4 遠山ゼミ(4年) 5 軽音学部 6 亀ちゃん 7 近藤ゼミ 8 ネパール留学生 9 人見ゼミ 10 ウズベキスタン留学生 11 カンボジア留学生

STAGE
豪華ゲストや学生たちによる企画、パフォーマンスで大盛況のステージ



1 サスケ 2 ファズクラクション(教員所属バンド) 3 チアリーディング(高蔵高校) 4 trace(学内バンド) 5 青い青春(学内バンド) 6 トーチトワリング(市邨高校) 7 BINGO

VOICE ステージ裏 de 見つけた



第23回名経祭を無事に開催することができました。今年は実行委員の人数が大幅に増えたため、これまで力を入れることが出来なかった広告宣伝・SNS活動を行いました。2日間+後夜祭の来場者数は約6,000人を超え、結果として昨年度より約1,000人程多くの方々に参加いただきました。これからも、名経大生・地域住民の方々に親しまれる名経祭になっていくよう、後輩たちに頑張ってもらいたいです。

2025年度 名経祭実行委員会委員長 経営学部 3年生 深津 勇翔さん(愛知県立岡崎高等学校出身)

EVENT
名経祭の醍醐味ミュージックスターメイン・メッセージ花火でフィナーレ！



第24回 名経祭
お会いしましょう！



Baseball 金田 進 監督

硬式野球部

【所属リーグ】
愛知大学野球連盟
2部リーグ

Q. 部活の雰囲気を教えてください。

「明るく、活気に溢れ、時には厳しく。」を大切にしています。

Q. 活動の中で特に力を入れていることは？

選手一人ひとりの自主性を重んじることと、社会に出る前の準備としての人材育成に力を入れています。

Q. チームの強みや特徴を教えてください。

自主的な行動力に長け、仲間同士で話し合うことができ、勝利に向けて貪欲なところです。

Q. 今年のチーム目標と、達成への取り組みを教えてください。

二部リーグ優勝、一部リーグ昇格。勝つためには何が必要か、選手に考えさせ、実行させることです。

Q. 学生のモチベーションをどのように維持・向上させていますか？

学生との日頃のコミュニケーションをとり、学生を信用、信頼し、試合や練習に全力で取り組むことです。

Rugby 島田 至隆 監督

ラグビー部

【所属リーグ】
東海学生Aリーグ

Q. 部活の雰囲気を教えてください。

伝統的に、上級生下級生関係なく仲良しです。その雰囲気がチーム強化に繋がるように心掛けています。

Q. 活動の中で特に力を入れていることは？

24時間セルフマネジメントができるようになることです。

Q. チームの強みや特徴を教えてください。

1回1回の練習への内容や取り組む姿勢に重きを置いています。

Q. 今年のチーム目標と、達成への取り組みを教えてください。

「東海学生Aリーグ4位以上」です。それに向けて、プロフェッショナルなウエイトトレーニングとグラウンドトレーニングをこなしています。

Q. 学生のモチベーションをどのように維持・向上させていますか？

ラグビー部員として経験価値を高める取り組みを継続させるようにしています。

Tennis 阿部 雅裕 監督

硬式テニス部

【所属リーグ】
【男子】東海学生リーグ 2部
※2026年度より1部昇格
【女子】東海学生リーグ 1部
インカレシングルス 13名出場
ダブルス 6組出場
インカレ室内 4名出場

Q. 部活の雰囲気を教えてください。

男女合同で活動し、互いに良い刺激を受けながら、個々の強みを活かして、明るく元気な雰囲気の中で練習に取り組んでいます。

Q. 活動の中で特に力を入れていることは？

「個々の技術向上」と「チームの結束力」の両立です。試合を想定した実践的なメニュー、戦術やメンタルの強化を行っています。

Q. チームの強みや特徴を教えてください。

全員が「応援し合い、挑戦する姿勢」を持っていること。先輩後輩関係なく意見を出し、試合は声援とサポート、一丸となって戦います。

Q. 今年のチーム目標と、達成への取り組みを教えてください。

団体戦、男子は1部昇格、女子は全国大会出場です。役割を意識して試合で力を発揮できるよう、チーム力向上に注力しています。

Q. 学生のモチベーションをどのように維持・向上させていますか？

練習で成功体験を積める工夫、小さな成長を実感できる環境を大切に、互いに声をかけ合い、前向きな雰囲気を作っています。

Judo 大熊 政彦 監督

柔道部

【所属連盟(2026年4月より)】
全日本学生柔道連盟
東海学生柔道連盟

Q. 部活の目指す雰囲気を教えてください。

相手を敬う心を持ち、稽古は厳しく、稽古が終わればお互いを讀み認め合える集団となることです。

Q. 来年度から始まる活動の中で特に力を入れることは？

「力必達」。応援されるチーム、応援される人間を目指し、自分に嘘のない努力を重ね、自己の目標を達成することです。

Q. どのようなチーム作りを目標にしていますか？

創部1年目。感謝の心を忘れず徳を積み、誇れる部を全員で作る！

Q. 来年のチーム目標と、達成への取り組みを教えてください。

団体・個人で全国大会出場！各自が高い志を持ち、嘘のない努力をし、自己の目標を達成するべく精進していきます。

Q. 学生のモチベーションをどのように維持・向上させますか？

常に目標を設定し、達成のための課題を解決する努力と心を養うことに喜びを感じられるような指導を心掛けていきます。勝ち負けだけでなく、試合に向け努力を続けることが人生の支えになります。

Ladies soccer 三壁 雄介 監督

女子サッカー部

【所属リーグ】
東海女子サッカーリーグ
1部リーグ
インカレ 2回出場

Q. 部活の雰囲気を教えてください。

目標に向かって、メリハリをつけて切磋琢磨しています。

Q. 活動の中で特に力を入れていることは？

①全力②最後まで諦めない③仲間を信じ自分を信じる④真摯に向き合う。創部以来、この4点は変わらず意識しています。

Q. チームの強みや特徴を教えてください。

仲間を尊重し、助け合うことができるところです。

Q. 今年のチーム目標と、達成への取り組みを教えてください。

インカレ出場です。目標に向けて、年間のリーグ戦における客観的な振り返りを積み上げています。

Q. 学生のモチベーションをどのように維持・向上させていますか？

公式戦はもちろん、他にも試合の機会を多く設定しています。また、活動のON/OFFのメリハリをつけるようにしています。

Men's Soccer 白井 博幸 監督

男子サッカー部

【所属リーグ】
東海学生サッカーリーグ
2部リーグ

Q. 部活の雰囲気を教えてください。

グラウンド内外で楽しい雰囲気は伝わってきますが、トレーニングは一生懸命に取り組んでいます。

Q. 活動の中で特に力を入れていることは？

考える力とコミュニケーションです。

Q. チームの強みや特徴を教えてください。

トレーニングによって楽しむときは楽しみ、真剣に取り組むときは切り替えるなど、メリハリのある活動ができています。

Q. 今年のチーム目標と、達成への取り組みを教えてください。

目標は常に全国大会出場。技術、フィジカル、メンタル、意識の向上を目指し、チーム力の底上げを狙いトレーニングに励んでいます。

Q. 学生のモチベーションをどのように維持・向上させていますか？

1年間常に100%の力を出してもらいたいところではありますが、体調やメンタルが伴わないこともあります。常に対話を心がけ、大学生生活、私生活、部活動への助けになるよう努めています。

Ladies Basketball 神谷 知里 監督

女子バスケット部

【所属リーグ】
東海学生リーグ
1部リーグ
インカレ 5回出場
新人インカレ 2回出場

Q. 部活の雰囲気を教えてください。

学年やポジションに関係なく声をかけ合う、明るい雰囲気です。

Q. 活動の中で特に力を入れていることは？

今シーズンは「フィジカル強化」に注力。走力・体幹・筋力を高め、最後まで走り切れる、当たり負けをしない強さを目指しています。

Q. チームの強みや特徴を教えてください。

個性豊かな選手が揃い、試合ごとにカラーを発揮。それぞれが役割を果たし一丸となる「全員バスケット」が最大の強みです。

Q. 今年のチーム目標と、達成への取り組みを教えてください。

「東海地区優勝」と「インカレ3年連続出場」に向け、一戦一戦、相手に応じた準備を怠らず、試合ごとに成長するチームを目指します。

Q. 学生のモチベーションをどのように維持・向上させていますか？

練習では達成感を得られるよう、時間や本数を明確に設定。競い合い、協力しながら「できた！」を重ねて、意欲を高めます。練習試合も多く設け、実戦経験から自信と成長の実感を大切にしています。

Men's Basketball 藤本 浩太郎 監督

男子バスケット部

【所属リーグ】
東海学生リーグ
1部リーグ
インカレ 7回出場

Q. 部活の雰囲気を教えてください。

先輩後輩関係なく、楽しい雰囲気の中で取り組んでいます。

Q. 活動の中で特に力を入れていることは？

当たり前を当たり前にやること。具体的には、練習への参加、意欲、楽しんで取り組むことなどです。

Q. チームの強みや特徴を教えてください。

名経大バスケットボール部に集まったメンバーとして、個人の特徴を活かし、チームのルールを徹底させるようにしています。

Q. 今年のチーム目標と、達成への取り組みを教えてください。

4年連続のインカレ出場が目標です。大会までの取り組みや、練習で行ってきたことを試合で発揮できることを目指しています。

Q. 学生のモチベーションをどのように維持・向上させていますか？

オンとオフの切り替えを大事にしています。練習では、厳しくもほめたりしつつ、練習が終わると一学生としての会話を楽しみます。